

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7526252号
(P7526252)

(45)発行日 令和6年7月31日(2024.7.31)

(24)登録日 令和6年7月23日(2024.7.23)

(51)国際特許分類

F I

B 6 5 D 33/10 (2006.01)

B 6 5 D 33/10

B 6 5 D 30/16 (2006.01)

B 6 5 D 30/16

F

請求項の数 8 (全10頁)

(21)出願番号	特願2022-504004(P2022-504004)	(73)特許権者	522025776
(86)(22)出願日	令和2年7月23日(2020.7.23)		ニヴァープラスト ホールディング ビー
(65)公表番号	特表2022-542242(P2022-542242 A)		ブイ
(43)公表日	令和4年9月30日(2022.9.30)		オランダ王国 7 4 4 2 ピーディー ナ
(86)国際出願番号	PCT/NL2020/050484		イフェルダル パルク スピノーツァスト
(87)国際公開番号	WO2021/020965	(74)代理人	リート 2
(87)国際公開日	令和3年2月4日(2021.2.4)		100143764
審査請求日	令和5年4月18日(2023.4.18)		弁理士 森村 靖男
(31)優先権主張番号	1043347	(72)発明者	ニーウェンハイス、ヘリット ヤン
(32)優先日	令和1年7月30日(2019.7.30)		オランダ王国 7 4 4 8 アールティー
(33)優先権主張国・地域又は機関	オランダ(NL)	審査官	ハールレ スビッパースヴェック 6
			佐藤 正宗

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 配置装置に適したTシャツバッグおよびTシャツバッグの製造方法

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Tシャツバッグ(1)であって、
前側ホイル層(2)と、
後ろ側ホイル層(3)と、
前側折り返し部分(6、8)および後ろ側折り返し部分(7、9)をそれぞれ含む左側面の折り返し(4)および右側面の折り返し(5)と
を備え、
前記前側ホイル層(2)および前記後ろ側ホイル層(3)ならびに両側面の折り返し(4、5)は、下縁(10)および上縁(11)において接合され、
前記Tシャツバッグ(1)の前記上縁(11)において、2つの持ち手部(12、13)が、前記上縁(11)から前記2つの側面の折り返し(4、5)へと延びて左右の搬送用開口部(15、16)を形成する凹部(14)によって形成され、
両方の持ち手部(12、13)は、前記Tシャツバッグ(1)が一組の支持ピン(19)に吊り下げて配置されるように、4つの貫通穴(17.1、17.2、17.3、17.4; 18.1、18.2、18.3、18.4)からなる連続した吊り下げ穴(17、18)を含み、
前記前側ホイル層(2)および前記前側折り返し部分(6、8)の前記貫通穴(17.1、17.2; 18.1、18.2)は、前記貫通穴(17.1、17.2; 18.1、18.2)から延びる切り込み(19.1、19.2; 20.1、20.2)を含み、

各々の持ち手部（１２、１３）が、前記前側ホイル層（２）と前記前側折り返し部分（６、８）との間のスポット溶接部（２１、２２）を有することを特徴とするＴシャツバッグ（１）。

【請求項２】

前記スポット溶接部（２１、２２）は、接着接合部、溶接接合部、またはパンチ接合部から選択される

請求項１に記載のＴシャツバッグ。

【請求項３】

前記スポット溶接部（２１、２２）は、前記持ち手部（１２、１３）の前記吊り下げ穴（１７、１８）の付近に配置される

請求項１または２に記載のＴシャツバッグ。

【請求項４】

前記スポット溶接部（２１、２２）は、前記持ち手部（１２、１３）において前記側面の折り返し（４、５）の上側（３０、３１）と前記吊り下げ穴（１７、１８）との間に設けられる

請求項１から３のいずれか一項に記載のＴシャツバッグ。

【請求項５】

前記スポット溶接部（２１、２２）は、前記貫通穴（１７．１、１７．２；１８．１、１８．２）の前記切り込み（１９．１、１９．２；２０．１、２０．２）に整列している

請求項３または４に記載のＴシャツバッグ。

【請求項６】

前記切り込み（１９．１、１９．２；２０．１、２０．２）は、本質的に、前記Ｔシャツバッグの側縁（２３、２４）に平行かつ前記上縁（１１）に垂直に延びている

請求項５に記載のＴシャツバッグ。

【請求項７】

前記スポット溶接部（２１、２２）と前記切り込み（１９．１、１９．２；２０．１、２０．２）とが、前記貫通穴（１７．１、１７．２；１８．１、１８．２）の垂直軸上で互いに対向している

請求項４または５に記載のＴシャツバッグ。

【請求項８】

Ｔシャツバッグ配置装置において使用するためのＴシャツバッグ（１）の製造方法であって、

筒状の可撓なホイルから側面の折り返し（４、５）を有するホイルバッグを形成するステップと、

筒状のホイル片をシールして、閉じた上縁（１１）および閉じた下縁（１０）を形成するステップと、

左右の搬送用開口部（１５、１６）ならびに左右の前側持ち手部（１２．１、１３．１）および左右の後側持ち手部（１２．２、１３．２）が形成されるように、前記上縁（１１）から２つの前記側面の折り返し（４、５）へと延びる凹部（１４）を設けるステップと、

外側から２つの前記側面の折り返し（４、５）へとパンチプレートを挿入するステップと、

前側ホイル層（２）および両方の前側折り返し部分（６、８）に、切り込み（１９．１、１９．２；２０．１、２０．２）を有する貫通穴（１７．１、１７．２；１８．１、１８．２）を設け、後側ホイル層（３）および２つの後側折り返し部分（７、９）に、切り込みを持たない貫通穴（１７．３、１７．４；１８．３、１８．４）を設けるステップと、

前記前側ホイル層（２）と２つの前側折り返し部分（６、８）との間にスポット溶接部（２１、２２）を設けるステップとを備える製造方法。

10

20

30

40

50

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、配置装置での使用に適したＴシャツバッグに関する。

さらに、本発明は、Ｔシャツバッグを開き、広げ、ホルダ（容器）へと挿入する配置装置での使用に適したＴシャツバッグの製造方法に関する。

【背景技術】

【0002】

Ｔシャツ型運搬バッグ、略してＴシャツバッグは、米国特許出願公開第２０１１／０１６４８３６号明細書および米国特許第４，６７６，３７８号明細書に記載および図示されているように、一体的に形成された持ち手部を有するＴシャツ型のホイルバッグである。Ｔシャツバッグ（持ち手部バッグまたはベスト型ショッピングバッグ）を、筒状のホイル材料から、側面の折り返しを備えて形成する（ひだ付きバッグまたはガセットバッグ）ことも、備えずに形成することも可能である。上縁および下縁がシールされ、その後、Ｕ字形部分がバッグの上部において切り取られる。これにより、２つの持ち手部を有するＴシャツバッグが生み出される。側面の折り返しが用いられる場合、Ｔシャツバッグの前側および後ろ側の開いた持ち手部は、２層のホイルを含む。好ましくは、Ｔシャツバッグは、軽量、柔軟、かつ丈夫な熱可塑性材料で作られる。

【0003】

Ｔシャツバッグを束から人の手によって取り外すために、複数のＴシャツバッグの持ち手部を貫いて突出するピンを備える支持体を使用される。これは、とりわけ、米国特許第４，６７６，３７８号明細書および第５，９３８，０３３号明細書ならびに米国特許出願公開第２００９／０２７４３９６号明細書に記載されている。この目的のために、Ｔシャツバッグをピン上でスライドさせることができるように、持ち手部に穿孔または穴が設けられる。例えば、ショッピングバッグとして使用するためのバッグを開いて広げるために、Ｔシャツバッグの前側ホイル層が人の手によって束から引き離される一方で、Ｔシャツバッグの後ろ側ホイル層はピン上の同じ位置にとどまる。こうして、Ｔシャツバッグは持ち手部を開いて広げられ、両手でピンから持ち上げて外されたり、上部の開口部から入れられたりすることができる。

【0004】

本出願の出願人名義のオランダ特許出願公開第１０１２０３３号明細書には、ホイルバッグを箱または枠に配置するための方法および装置が記載されている。ホイルバッグは、側面に折り返しを備えており、上側に溶接部またはシールが設けられていないため、上側が完全に開いている。オランダ特許出願公開第１０１２０３３号明細書において、ホイルバッグは、上述の装置によって開かれて広げられ、次いで箱または枠などのホルダに配置および挿入される。箱または枠ごとに１つのホイルバッグが適用され、ホイルバッグの上縁が、箱または枠の側壁の周りに内側から外側へと折り返される。各ホイルバッグには２つの貫通穴が設けられており、これらの貫通穴によって、ホイルバッグの束を一組の支持ピンに取り付けてぶら下げることができる。本出願の出願人名義のオランダ特許出願公開第１０２２２９０号明細書は、オランダ特許出願公開第１０１２０３３号明細書による装置で使用するためのホイルバッグを開示しており、ホイルバッグに２つの貫通穴が設けられ、前側ホイル層および前側折り返し部分の貫通穴に切り込み（切れ目）が設けられ、後ろ側ホイル層および後ろ側折り返し部分には切り込みが設けられていない。これにより、ホイルバッグを配置装置によってより容易に開くことが可能となる。何故ならば、前側の貫通穴を支持ピン上で容易に移動させることができるが、後ろ側の貫通穴は支持ピンと実質的に同じ直径で設けられているため、これら後ろ側の貫通穴がキャリアピンに対して軽い締め付け力を及ぼしてわずかに詰まり、支持ピン上を移動するときに抵抗を受けるため、吊り下げピン上での移動がより困難なためである。

【0005】

ホイルバッグとは異なり、Ｔシャツバッグは、上側に溶接部またはヒートシールを備え

ている。結果として、Ｔシャツバッグは、枠などのホルダへ上縁を折り返して挿入することが不可能である。ホルダは、さまざまな物品を収容することができる開口した正方形または長方形の容器または枠であり、閉じた側壁または開口部のある側壁を備える。Ｔシャツバッグは、持ち手部にて、ホルダの対向する側壁の上側の凹部に取り付けられる。多くの場合、ホルダに２つ以上のＴシャツバッグが配置され、吊り下げられる。持ち手部の一部分が、ホルダの側壁の外側に延在する。Ｔシャツバッグを開き、広げ、配置し、ホルダに挿入するためには、Ｔシャツバッグを開き、さらに２つの持ち手部も開く配置装置が必要である。

【０００６】

オランダ特許出願公開第１０１２０２２号明細書の貫通穴を使用すると、Ｔシャツバッグ用の配置装置において問題が生じることが明らかになっている。何故ならば、持ち手部内の側面折り返し部分が前側ホイル層から離れてしまい、したがって持ち手部が適切に開かず、配置装置の開き機構の把持フックおよび／または持ち手部の広げ部材をＴシャツバッグの搬送用開口部に適切に挿入することができないからである。

【先行技術文献】

【特許文献】

【０００７】

【文献】米国特許出願公開第２０１１／０１６４８３６号明細書

【文献】米国特許第４，６７６，３７８号明細書

【文献】米国特許第５，９３８，０３３号明細書

【文献】米国特許出願公開第２００９／０２７４３９６号明細書

【文献】オランダ特許出願公開第１０１２０３３号明細書

【文献】オランダ特許出願公開第１０２２２９０号明細書

【文献】オランダ特許出願公開第１０１２０２２号明細書

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００８】

したがって、本発明の目的は、Ｔシャツバッグを支持ピンに束ねた状態で配置することが可能であり、配置装置の開き機構により、持ち手部を容易かつ確実に高頻度に開くことができるＴシャツバッグを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【０００９】

本発明が提供するＴシャツバッグは、
前側ホイル層および後ろ側ホイル層と、
前側折り返し部分および後ろ側折り返し部分をそれぞれ含む左側面の折り返しおよび右側面の折り返しと
を備え、

前側ホイル層および後ろ側ホイル層ならびに両側面の折り返しは、下縁および上縁において接合され、

Ｔシャツバッグの上縁において、２つの持ち手部が、上縁から２つの側面の折り返しへと延びて左右の搬送用開口部を形成する凹部によって形成され、

両方の持ち手部は、Ｔシャツバッグが一組の支持ピンに吊り下げて配置されるように、４つの貫通穴からなる連続した吊り下げ穴を含み、

前側ホイル層および前側折り返し部分の貫通穴は、貫通穴から延びる切り込みを含み、各々の持ち手部は、前側ホイル層と前側折り返し部分との間のスポット接続部を有する。

【００１０】

前側ホイル層と左右の前側折り返し部分との間にスポット接続部を設けることによって、搬送開口部を支持ピンにより確実に開かせ、配置装置の搬送用開口部用の開き機構を搬送用開口部へとより良好かつより確実に挿入することが可能になる。

【００１１】

10

20

30

40

50

特に、スポット接続部は、接着接合部、溶接接合部、またはパンチ接合部から選択される。

【 0 0 1 2 】

好ましくは、スポット接続部は、持ち手部の吊り下げ穴の近くに設けられる。特に、持ち手部内のスポット接続部は、側面の折り返しの上部と吊り下げ穴との間に設けられる。

【 0 0 1 3 】

吊り下げ穴の近くにスポット接続部を設けることは、前側のホイル部分の貫通穴と一緒にまとめて支持ピン（の拡張された端部）を越えて容易に押すことができ、したがって搬送用開口部を適切に開くことができるという利点を有する。

【 0 0 1 4 】

好ましい実施形態において、スポット接続部は、貫通穴の切り込みに整列され、好ましくは、切り込みは、本質的にＴシャツバッグの側縁に平行かつ上縁に垂直に延びる。とくには、スポット接続部と切り込みとが、貫通穴の垂直軸上で互いに対向する。

【 0 0 1 5 】

これらの対策により、切り込みは容易に開き、前側ホイル層は支持ピンならびに支持ピンの端部の膨出部または拡張部を容易にスライドできる一方で、前側ホイル層と前側の折り返しとが、相対的にずれることがなく、したがってＴシャツバッグおよび持ち手部を開くときに、前側の貫通穴がキャリアピンの外側端からの等しい抵抗を受けることが判明した。

【 0 0 1 6 】

さらに、本発明は、Ｔシャツバッグ配置装置において使用するためのＴシャツバッグの製造方法に関し、この製造方法は、

筒状の可撓なホイルから側面の折り返しを有するホイルバッグを形成するステップと、
筒状のホイル片をシールして、閉じた上縁および閉じた下縁を形成するステップと、
左右の搬送用開口部ならびに左右の前側持ち手部および左右の後ろ側持ち手部が形成されるように、上縁から２つの側面の折り返しへと延びる凹部を設けるステップと、
外側から２つの側面の折り返しへとパンチプレート挿入するステップと、
前側ホイル層および両方の前側折り返し部分に切り込みを有する貫通穴を設け、後ろ側ホイル層および２つの後ろ側折り返し部分に切り込みを持たない貫通穴を設けるステップと、

前側ホイル層と２つの前側折り返し部分との間にスポット溶接部を設けるステップとを備える。

【 0 0 1 7 】

両側の折り返しにおいてパンチプレートを使用することにより、貫通穴ならびに切り込みおよびスポット接続部を、前側ホイル層および前側折り返し部分に設けることができ、したがって、前側持ち手部を支持ピン上で支持ピンの外側端の拡張部を越えて容易に移動させることができ、Ｔシャツバッグを配置装置の開放機構の把持フックおよび持ち手部広げ部によって開くことができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 8 】

【 図 １ 】 Ｔシャツバッグ配置装置において使用するためのＴシャツバッグを示している。
【 図 ２ 】 持ち手部の吊り下げ穴の付近にスポット接続部を有している図 １ の Ｔシャツバッグを示している。

【 図 ３ 】 支持ピン上の開かれたＴシャツバッグの左側持ち手部をより詳細に示している。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 9 】

図 １ に、支持ピン ２ ９ によってＴシャツバッグ配置装置に吊り下げることができるＴシャツバッグ １ が示されている。Ｔシャツバッグ １ は、前側ホイル層 ２ 、後ろ側ホイル層 ３ 、ならびに前側折り返し部分 ６ 、 ８ および後ろ側折り返し部分 ７ 、 ９ をそれぞれ有する左側面の折り返し ４ および右側面の折り返し ５ を備える。このようなＴシャツバッグは、筒

10

20

30

40

50

状のホイルからホイルバッグとして製造され、個々のホイルバッグは、筒状のホイルから、下縁および上縁の下部 / 上部溶接部 / シールによって製造される。側面の折り返し（ガセット）が適用される場合、側面の折り返しも、下縁および上縁において前側および後ろ側ホイル層に接合される。ホイルバッグは単一の筒状ホイル片から製造されるため、ホイルバッグの異なるホイル層は、組成およびホイルの厚さを含む物理的特性において実質的に同一である。

【 0 0 2 0 】

図 1 に、前側ホイル層 2 および後ろ側ホイル層 3 ならびに 2 つの側面の折り返し 4、5 が、下縁 10 および上縁 11 において互いに接合されることが示されている。前側折り返し部分 6、8 と後ろ側折り返し部分 7、9 との間の折り返し接続部を切り抜くことによって左側および右側の搬送用開口部 15、16 が形成され、上縁 11 から 2 つの側面の折り返し 4、5 へと延びる凹部 14 を設けることによって、T シャツバッグ 1 の上側に、2 つの持ち手部 12、13 が形成される。前側ホイル層 2 が、前側ホイル部分 6、8 と共に前側持ち手部 12、1 および 13、1 を形成し、後ろ側ホイル層 3 が、後ろ側折り返し部分 7、9 と共に後ろ側持ち手部 12、2 および 13、2 を形成する。2 つの持ち手部 12、13 には、前側ホイル層 2、前側折り返し部分 6、8、後ろ側折り返し部分 7、9、および後ろ側ホイル層 3 に対して、左側持ち手部 12 の 4 つの貫通穴 17、1、17、2、17、3、17、4 および右側持ち手部 13 の 4 つの貫通穴 18、1、18、2、18、3、18、4 で構成される連続した吊り下げ穴 17、18 がそれぞれ設けられる。結果として、T シャツバッグ 1 は、一組の支持ピン 29 上に配置され、好適に吊り下げられる。

【 0 0 2 1 】

前側ホイル層 2 および前側折り返し部分 6、8 における、左側持ち手部 12 の貫通穴 17、1、17、2 および右側持ち手部 13 の貫通穴 18、1、18、2 には、左側持ち手部 12 の切り込み 19、1、19、2 および右側持ち手部 13 の切り込み 20、1、20、2 がそれぞれ設けられる。切り込みは、左側の貫通穴 17、1、17、2 および右側の貫通穴 18、1、18、2 から延びる。これらの切り込みにより、持ち手部 12、13 の前側ホイル層 2 および前側折り返し部分 6、8 を、持ち手部の後ろ側ホイル層 3 および後ろ側折り返し部分 7、9 と比べて、支持ピン 29 で支持ピンの端部の突出部（膨出部）または拡張部を過ぎて容易にスライドさせることができる。これは、持ち手部を備えていないホイルバッグの場合、広げ装置をホイルバッグへと導入することができ、ホイルバッグを容易に開くことができるため有利である。2 つの持ち手部 12、13 を有する T シャツバッグの場合、吊り下げ穴 17、18 が 2 つの持ち手部 12、13 において T シャツバッグの狭い部分に設けられることが欠点である。即ち、支持ピン 29 および支持ピンの端部の拡張部における前側折り返し部分 6、8 の変位は、切り込み 17、2、18、2 の存在ゆえに制御されず、無作為となる。多くの場合に、前側折り返し部分 6、8 は、支持ピンの端部の拡張部にとどまり、したがって搬送用開口部 15、16 を再び完全に、または部分的に閉じてしまい、結果として、配置装置の開き機構の把持フックを持ち手部の搬送用開口部に適切に挿入することができず、持ち手部広げ部材が T シャツバッグの持ち手部を確実に開いて引っ張ることができない。

【 0 0 2 2 】

図 2 に、各々の持ち手部 12、13 において、前側ホイル層 2 と前側折り返し部分 6、8 との間にスポット接続部 21、22 が設けられることが示されている。持ち手部にスポット接続部 21、22 を設けることによって、配置装置の開き機構の把持フックについて、T シャツバッグの搬送用開口部 15、16 への横からの挿入を、高い信頼性および高い頻度で実行できることが明らかになった。

【 0 0 2 3 】

例えば、スポット接続部 21、22 を、接着接合部、溶接接合部、またはパンチ接合部として、例えば貫通穴および切り込みを設けるときに同時に適用することができる。

【 0 0 2 4 】

スポット接続部 21、22 が持ち手部 12、13 において吊り下げ穴 17、18 の近く

に設けられると、前側ホイル層 2 および前側折り返し部分 6、8 は、等しい抵抗で、支持ピン 29 の拡張された端部を過ぎて、ホイル層の互いの移動を伴うことなく一緒にスライドする。側面の折り返し 4、5 の上側 30、31 と吊り下げ穴 17、18 との間に持ち手部 12、13 のスポット接続部 21、22 を設けることにより、持ち手部 12、13 がより確実に開かれる。スポット接続部 21、22 を貫通穴 17.1、17.2；18.1、18.2 の切り込み 19.1、19.2；20.1、20.2 に整列させて設けることによって、前側ホイル層の貫通穴 17.1、18.1 と前側折り返し部分 6、8 の貫通穴 17.2、18.2 とがさらに良好に互いに整列した状態にとどまり、したがって前側持ち手部 12.1 および 13.1 が、均等に、かつ大きな抵抗を受けることなく、貫通穴 17.1、17.2、18.1、18.2 および切り込み 19.1、19.2、20.1、20.2 によって支持ピン 29（の拡張された端部）上を移動できることが明らかになった。切り込み 19.1、19.2；20.1、20.2 が、側縁 23、24 に実質的に平行に延在し、T シャツバッグの上縁 11 に実質的に垂直に延在する場合、配置装置の把持フックおよび/または持ち手部広げ部材を搬送用開口部へと挿入する際の妨げまたはエラーはわずかであり、持ち手部 12、13 をきわめて滑らかに開くことができることが明らかになった。

10

【0025】

スポット接続部 21、22 および切り込み 19.1、19.2；20.1、20.2 がそれぞれの貫通穴 17.1、17.2；18.1、18.2 の垂直軸上に設けられている配置装置内の T シャツバッグにおいて、きわめて良好な結果が得られている。

20

【0026】

図 3 に、図 2 の T シャツバッグ 1 の左側の持ち手部 12 が、より詳細に示されている。後ろ側持ち手部 12.2 は、突出部（膨出部）または拡張された端部が設けられてよい支持ピン 29 に依然として吊り下げられている。前側持ち手部 12.1 は、すでに支持ピンから引き出されている。スポット接続部 21 は、前側ホイル層 2 のうちで、左側の折り返し 4 の上側 30 と前側の貫通穴 17.1 との間に位置する部分に設けられている。結果として、持ち手部 12 の前側折り返し部分 6 が前側ホイル層 2 に当接するため、T シャツバッグ配置装置の開き機構のための大きくてゆったりした左側の搬送用開口部 15 が形成される。

【0027】

30

T シャツバッグ配置装置によって枠において使用するための T シャツバッグを、以下の本発明の方法で製造することができる。

【0028】

まず、筒状の可撓なホイルから、側面の折り返し（ガセット）4、5 を有するホイルバッグが形成される。この目的のために、筒状のホイル片に、封止（熱溶接）によって閉じた上縁 11 および閉じた下縁 10 が設けられる。続いて、左右の搬送用開口部 15、16 ならびに左右の前側持ち手部 12.1、13.1 および左右の後ろ側持ち手部 12.2、13.2 が形成されるように、上縁 11 から 2 つの側面の折り返し 4、5 へと延びる凹部 14 が設けられる。次いで、パンチプレートが、2 つの側縁 23、24 の外側から 2 つの側面の折り返し 4、5 へと挿入され、前側折り返し部分および前側ホイル層に後ろ側折り返し部分および後ろ側ホイル層とは異なる切り込みおよび穴が設けられる。

40

【0029】

前側持ち手部 12.1 および 13.1 の前側ホイル層 2 および 2 つの前側折り返し部分 6、8 に、切り込み 19.1、19.2；20.1、20.2 を有する貫通穴 17.1、17.2；18.1、18.2 が設けられる。後ろ側ホイル層 3 および 2 つの後ろ側折り返し部分 7、9 に、切り込みを持たない貫通穴 17.3、17.4；18.3、18.4 が設けられる。

【0030】

続いて、または同時に、前側持ち手部 12.1、13.1 の前側ホイル層 2 と 2 つの前側折り返し部分 6、8 との間に、スポット接続部 21、22 が設けられる。好ましくは、

50

スポット接続部 21、22 は、前側の貫通穴 17.1、17.2；18.1、18.2 の下方かつ側面の折り返し 4、5 の上縁 30、31 の上方に設けられ、それにより、Tシャツバッグの前側は支持ピン（の拡張された端部）を過ぎて容易にスライドし、前側持ち手部 12.1 および 13.1 を後ろ側持ち手部 12.2 および 13.2 から容易に離すことができる。

【0031】

切り込み 19.1、19.2；20.1、20.2 が、側縁 23、24 に実質的に平行に延在し、かつ Tシャツバッグの上縁 11 の方向に垂直に延在する場合、スポット接続部 21、22 との組み合わせにより、配置装置に適用された際に、不具合が少なくてエラー率が低い Tシャツバッグが形成される。

10

【0032】

スポット接続部と切り込みとを、前側ホイルおよび前側折り返し部分において貫通穴 17.1、17.2；18.1、18.2 の垂直軸上の互いに反対側に設けることによって、持ち手を Tシャツバッグ配置装置によって容易かつ確実に開き、広げ、枠などのホルダへと挿入することができる Tシャツバッグが得られる。

20

30

40

50

【図面】

【図 1】

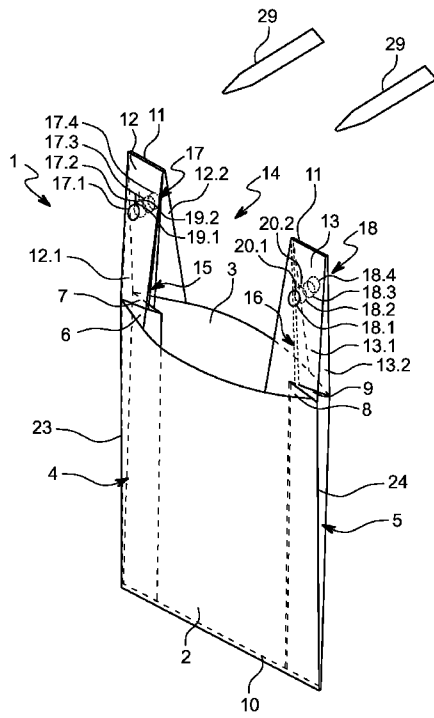


FIG. 1

【図 2】

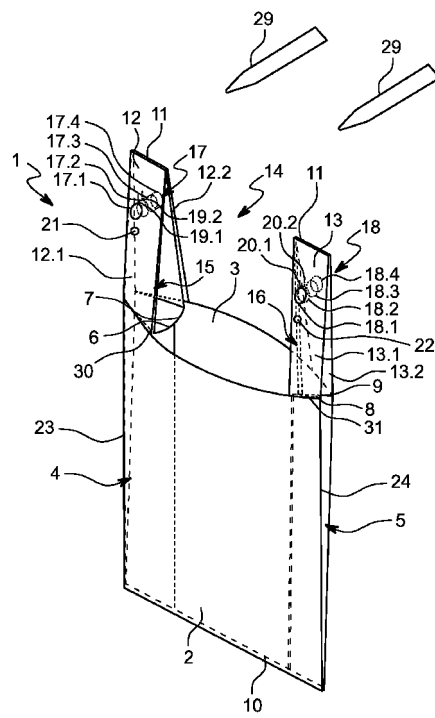


FIG. 2

【図 3】

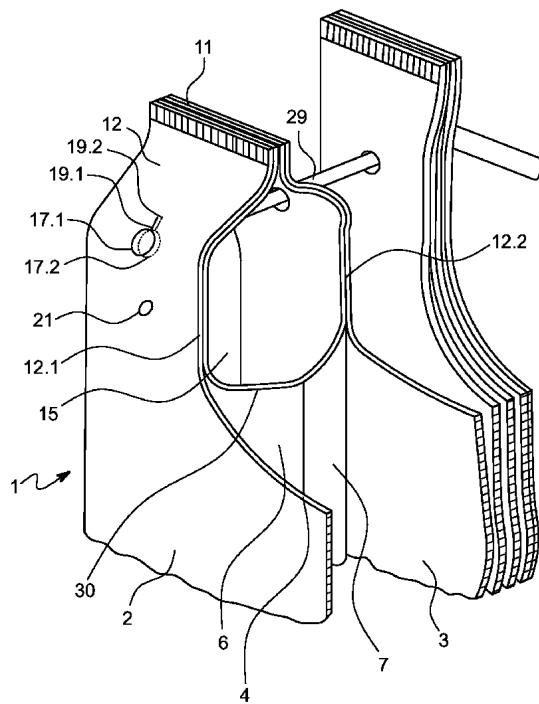


FIG. 3

10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開 2 0 0 5 - 0 9 6 8 5 1 (J P , A)
米国特許出願公開第 2 0 1 0 / 0 1 6 6 3 4 0 (U S , A 1)
米国特許第 0 6 0 6 8 1 2 8 (U S , A)
特開 2 0 0 6 - 3 0 6 4 4 6 (J P , A)
米国特許出願公開第 2 0 1 8 / 0 1 0 5 3 2 6 (U S , A 1)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
B 6 5 D 3 0 / 0 0 - 3 3 / 3 8